

トマト農園での誘引作業

アシストスーツTASK ARは農作業においても様々な場面で活用いただいております。その1つとして、トマトハウスでの誘引作業をご紹介します。

ご使用いただいた方

お名前: **中本様**

<使用場所>

事業内容: トマトのハウス栽培 他 和歌山県日高郡みなべ町

使用作業

トマトハウスにおける誘引作業

トマトは、取引価格・収穫量の安定しやすい作物であることから、梅の栽培の盛んな和歌山県みなべ町では、梅と組み合わせて取り組む作物として栽培が盛んです。トマト栽培において、時間・労力ともにかかるのは、「誘引作業」です。中本様ご本人が1人で作業していくため、上腕への負担は重く作業改善が望まれる作業でした。

○誘引作業とは？

トマトの成長に合わせて余分な葉を間引きしていく・支柱に括り付ける作業であり、手作業。トマトの木は2メートル程度まで生育させるため、腕をあげての作業にせざるを得ず、必要に応じて台に乗っての作業もある。作業時期は概ね11月～半年間程度と長い時間行う。

装着条件: TASK AR2.1 ガススプリングレベル1

使用者様の声

当初は違和感あるものの、作業が楽に

当初は、腕を下ろす際の違和感から「使い物にならない」と思っていたが、アシスト位置を調整し、着用作業に慣れることで、快適に作業できるようになりました。アシストスーツ特有の動きには慣れる必要はあるかと思えます。

長時間の使用でも疲労感が違う

2～3時間装着して作業しますが、疲労感が軽減され、継続作業の煩わしさがなくなりました。

特に目線の位置で苗をしっかりと見て作業することが多いため、通常は腕の負担が大きいですが、非常に楽に感じます。

特にアシストスーツの重さ自体も気にならないので、同業者さんにも広く使ってもらえればと思います。

暑さ対策に課題

アシストスーツを着用しての作業の課題としては暑さ対策があります。ハウスの中は、25℃程度まで温度を上げるため、体を動かし作業しているとかなり熱く感じますので、ファンジャンパーを活用する等して使用していくのに工夫がいるのではないかと思います。

